



平成 29 年 7 月 18 日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード: 3156 東証第一部)
代表者名: 代表取締役社長 福寿 幸男
問合せ先: グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL: 03-3491-6575)

当社連結子会社における会計処理に係る影響額に関するお知らせ

当社連結子会社における会計処理に係る影響額について、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 当社連結子会社における会計処理に係る影響額について

平成 29 年 5 月 30 日付「第三者委員会の設置及び平成 29 年 3 月期決算発表の再延期に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、現在、当社連結子会社である UKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD. (以下、UKC 香港という) における前渡金等の資産の評価に関する疑義について、第三者委員会による実態解明を継続しております。

第三者委員会からの調査報告は未受領ですが、平成 29 年 6 月 29 日付「第 8 期有価証券報告書の提出期限延長に係る承認申請書の提出に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、第三者委員会が調査等の目的達成の観点から支障が生じないと許容する範囲に限り、正式な調査報告を受領するまでに、決算の確定に必要な情報を第三者委員会より事前にいただくことで、当社の決算作業及び会計監査人による監査等を並行して行っております。

また、同じく「第 8 期有価証券報告書の提出期限延長に係る承認申請書の提出に関するお知らせ」にて公表いたしました通り、本件調査の一環として、平成 29 年 3 月 30 日付「当社子会社による香港 Quatius Limited の転換社債取得に関するお知らせ」で公表いたしました Quatius Limited の転換社債に係る中国における物上担保について、その契約の実効性及び担保価値の精査を行っております。

現段階での第三者委員会からの情報や中国における物上担保の精査内容等を踏まえますと、全体として 190 億円程度の損失計上が想定されます。その内訳は以下の通りです。

- 1) 平成 29 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算発表の延期に関するお知らせ」にて挙げました特定取引先への前渡金に係る回収可能性の懸念 約 40 億円
- 2) 平成 29 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算発表の延期に関するお知らせ」にて挙げました売掛金等 (20~40 億円程度) の回収可能性の懸念 約 20 億円
- 3) Quatius Limited の 1 億ドルの転換社債について、相殺対象となった売掛金の回収可能性に懸念があり、さらには当該転換社債に付されている物上担保 (約 65 億円) の権利行使の実効性にも疑義が生じていることに伴う当該転換社債の引受処理に係る損失計上の懸念 約 100 億円

4) UKC香港における、上記1)と類似した取引に係る前渡金、売掛金の回収可能性の懸念 約30億円

なお、UKC香港の監査は未了であるため、上記損失計上の額につきましては、現段階で見積もれるものであり、監査の進捗やそれに伴う会計監査人との協議によっては、変動する可能性があります。

2. 今後の見通し

第三者委員会による調査報告については、平成29年7月下旬を目途に取りまとめられ、当社取締役会に報告される見込です。受領次第、速やかにお知らせいたします。また、平成29年7月31日までに、第8期有価証券報告書の提出、平成29年3月期決算短信の開示、加えて、第三者委員会の調査結果に基づき訂正が必要と判断された場合、過年度有価証券報告書等及び過年度決算短信等の提出・開示を完了させる予定であります。

平成29年3月期決算発表の遅延並びに損失計上見込額の拡大により、株主・投資家をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けいたしておりますことを改めて衷心より深くお詫び申し上げます。

以上